## 平成22年度(第10回)北海道アマチュアゴルフ選手権ハンディキャップ予選競技(道北)

開催日: 平成22年7月18日(日)

会 場:旭川ゴルフ倶楽部

## 競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 I (C)1b』を適用する。 (ゴルフ規則 186p 参照)

4. スタート時間

『ゴルフ規則付 I (C)2』を適用する。 (ゴルフ規則 187p 参照)

5. 競技終了時点

本予選競技は、競技委員会の作成した成績表が掲示された時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 I (C)6b』を適用する。 (ゴルフ規則 190p 参照)

- 7. プレーの中断と再開
  - (1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
  - (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。 1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会より

1 ホールのフレーの途中であったときは、各税技者はすくにフレーを中断しなければならず、そのあと、委員会より プレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ 規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格。(ゴルフ規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

8. 移 動

正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 I (C)9 移動』を適用する。(ゴルフ規則 192p 参照) ※コース内に設置してある乗用カートは、使用することができる。

9. キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。 この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 I (C)3』を適用する。(ゴルフ規則 188p 参照)

## ローカルルール

- 1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2. No.9 ホールにおいてグリーン奥のアウトオブバウンズの区域を越えた球は、向こう側のコース上に止まっている場合でも アウトオブバウンズの球とする。
- 3. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
- 4. ラテラル・ウォーターハザードは赤杭をもってその限界を標示する。
- 5. No.2、No.8、No.13、No.17 ホールにおいて球がラテラル・ウォーターハザードに入っていることが分かっているか、ほぼ確実な場合、ゴルフ規則 26-1 を適用するか、または 1 打の罰を加え指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。
- 6. 排水溝は動かせない障害物とする。
- 7. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 8. クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったり スタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。 このローカルルールの違反の罰は、2 打。
- 9. No.12 ホールにおいて球がNo.13 ホールティーインググラウンドの防球のための樹木による障害により、アンプレヤブルと みなす場合、ゴルフ規則 28 を適用するか、または 1 打の罰を加え指定ドロップ 区域に球をドロップすることができる。
- 10. パッティンググリーンに近接する動かせない障害物について、『ゴルフ規則付 I (B)6』を適用する。

(ゴルフ規則 173p 参照)

## 注意事項

- 1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、倶楽部ハウス内並びにスターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
- 2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 3. プレーの進行に留意し、先行組みとの間隔を空けないよう注意すること。プレーの不当な遅延についてはゴルフ規則 6-7 を適用する。(ゴルフ規則書 68p 参照)
- 4. 競技当日のスタート前の練習は指定練習場で行い、打放し練習場においては備付の球を使用し、1 人 1 コイン(30 球)とする。
- 5. 落下地点確認のためフォアキャディーを配置し、旗を掲げて指示する。

赤旗: 落下地点に前の組がいるのでプレーしてはいけない。(必ず指示に従うこと)

白旗: 落下地点があいているのでプレーできる。

青旗: アウトオブバウンズおよび紛失球の可能性がある。(暫定球のプレーを勧める)

競技委員長